

第33回京都大学宇治キャンパス産学交流会

< 生存圏研究所 >

日時：2019年9月30日(月) 14:00～19:00

場所：京都大学 宇治キャンパス (宇治市五ヶ庄)
木質材料実験棟(木質ホール)3階

第2部懇親会：宇治キャンパス 生協宇治食堂



京都大学宇治キャンパスにある4つの研究所(エネルギー理工学、生存圏、防災、化学)との産学連携や参加企業間の業種の垣根を越えた連携を目的に開催しています。今回は生存圏研究所との交流会です。どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越しください。(第2部の懇親会は参加費制)

◆ 第1部：講演会

14:00～17:15

◇ 研究シーズ

「植物細胞壁の形成と制御 -持続可能なバイオ燃料・有用化成品の生産に向けて-」 京大大学生存圏研究所 准教授 飛松 裕基 氏

植物細胞壁は、木質バイオマスの実体であり、地球上で最も豊富な再生可能資源の一つです。複雑な細胞壁の構造と機能、植物がそれを作り出す仕組みを理解することは、脱炭素社会実現に資する新たなテクノロジーの創出に寄与します。本講演ではバイオマス利用を主眼とした最近の細胞壁研究の動向と可能性についてご紹介します。



細胞壁の構造を改変した形質転換イネの栽培風景

「電子ビーム加工による高分子材料の改質」 京大大学生存圏研究所 特定教授 奥林 里子 氏

電子顕微鏡やレントゲンのX線源として用いられている電子ビーム。生産性が優れていることや、薬剤を大幅に削減できることから環境に優しい技術として産業界でも注目され、タイヤや電池隔膜の加工などに利用されています。この電子ビームが物質に与える化学的作用を説明するとともに、様々な材料加工への応用例をご紹介します。



電子ビームによるPETの高耐久撥水加工

◇ 企業紹介

「銀メッキ導電性繊維 AGposs[®] および ウェアラブルIoT hamon[®] 製品の展開について」 ミツフジ株式会社 開発部素材開発担当部長 三寺 秀幸 氏

ウェアラブルIoT hamon[®]製品を支える銀メッキ導電性繊維 AGposs[®]の特徴・用途展開から最先端のウェアラブルIoT技術を融合させた hamon[®]製品の展開についてご紹介します。

◇ 施設見学

- ・DASH 植物育成サブシステム
- ・森林代謝機能化学分野研究室

◆ 第2部：懇親会(参加費制)

17:30～19:00

- ◆主催 京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業21
- ◆共催 京大大学生存圏研究所・京都やましろ企業オンリーワン倶楽部
- ◆協力 宇治市



参加申込書

第33回京都大学宇治キャンパス産学交流会（9月30日（月）開催）

京都府中小企業技術センターけいはんな分室まで E-mail または、FAX でお申し込みください。

E-mail : keihanna@kptc.jp FAX : 0774-66-7546

参加費用 第1部（講演会） 無料
第2部（懇親会） 会員 2,000円 ・ 会員外 5,000円
(第2部の会費は講演会の受付で徴収いたします。)

申し込み締め切り **9月27日（金）**（先着60名）

会社名				
所在地	〒			
氏名	所属	電話番号	E-mail	参加（○印）
				1部・2部
				1部・2部
				1部・2部

※ 定員を超えた場合のみ連絡します。受付後、特に連絡しませんので当日お越しください。

- 公共交通機関の利用にご協力ください。（お車の場合は 南門(守衛室) での駐車手続きが必要です。）
- 第1部 講演会 の会場は、木質材料実験棟（木質ホール）3階です。
- 第2部 懇親会 の会場は、生協宇治食堂です。

